

6年生保護者のみなさまへ

刈谷市立小高原小学校長
尾出知子

全国学力・学習状況調査の調査結果について

本年、4月18日（木）に実施しました「全国学力・学習状況調査」の調査結果が文部科学省から届きましたので、下記のとおり調査結果の取り扱いに関する方針と本校の概要をお知らせします。また、お子様の結果につきましても、個人票をお渡ししますのでご覧ください。

記

1 調査結果の取り扱いに関する方針

文部科学省および刈谷市教育委員会は、結果の公表について、「本調査により測定できるのは学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面であることなどを踏まえるとともに、序列化や過度な競争が生じないなど教育上の効果や影響等に十分配慮することが重要である」という方針をとっています。本校もその方針を受けて、小高原小学校の傾向を国・県の状況を踏まえて分析し、改善すべき点の把握に努めていく目的で調査結果を取り扱います。なお、本調査結果は本校のホームページに掲載します。

2 本校の概要

国語	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的によく定着しており、満足できる状況である。 ・学習指導要領の内容で示す「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」「書くこと」「読むこと」の5つの内容において、本校はほぼ平均的であり満足できる状況である。 ・人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしながら、自分の考えを思考・判断・表現し、まとめることが、特によく定着していた。 ・今後は、説明文等の学習において、日常生活の中から話題を決め目的や意図に応じた資料を分類したり関係付けたりしながら、自分の考えが伝わるように工夫して表現できる力を伸ばしていきたい。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的によく定着しており、満足できる状況である。 ・学習指導要領の領域で示す「数と計算」「図形」「変化と関係」「データの活用」の4領域において、本校はほぼ平均的であり満足できる状況である。 ・「データの活用」において、問題を解決するために、円グラフの特徴を理解し、割合を読み取る知識・技能が、よく定着していた。 ・今後は、日常の事象から示された情報を基に、必要な数値を読み取ったり、基準値を超えるかどうかを判断したりしながら、日常生活に生かすことができる力を伸ばしていきたい。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分には、よいところがある」と感じ、「将来の夢を持っている」「人の役に立つ人間になりたい」と願いながら「学校に行くのは楽しい」「普段の生活の中で、幸せな気持ちになれる」ことを実感することで、「友達関係に満足している」と感じている児童の割合がとても高い。また、「先生は、あなたのよいところを認めてくれる」「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる」と感じている児童の割合も高い。 ・「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動」に取り組むことで、「人が困っているときは、進んで助ける」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだ」と感じている児童の割合も高い。 ・「地域や社会をよくするために何かしてみたい」と考えている児童が多いが、「放課後や週末の過ごし方」を詳しく分析すると家庭で過ごす割合が高い。地域行事を紹介し参加を促すことで、地域社会とのつながりがもてるようにしていきたい。 ・学習の場でタブレット端末の有効性を実感している子どもたちに、情報モラルへの意識を高め、約束事を守りながら活用させたい。

【個人票の見方等につきまして質問がありましたら、担任までご相談ください。】